

平成24年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年2月2日

上場取引所 東

上場会社名 相鉄ホールディングス株式会社

 コード番号 9003 URL <http://www.sotetsu.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 鳥居 眞

問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員経営戦略室部長

(氏名) 千原 広司

TEL 045-319-2043

四半期報告書提出予定日 平成24年2月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第3四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第3四半期	184,478	△1.7	12,585	2.9	8,733	6.3	6,667	23.4
23年3月期第3四半期	187,575	△1.9	12,229	20.0	8,218	32.1	5,404	130.6

(注) 包括利益 24年3月期第3四半期 10,755百万円 (118.3%) 23年3月期第3四半期 4,926百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第3四半期	13.60	—
23年3月期第3四半期	12.14	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第3四半期	522,703	75,025	14.3
23年3月期	545,538	66,723	12.2

(参考) 自己資本 24年3月期第3四半期 74,714百万円 23年3月期 66,348百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	2.50	—	2.50	5.00
24年3月期	—	2.50	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	2.50	5.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	256,230	△2.5	15,040	△4.6	10,310	△2.5	6,530	△4.6	13.32

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期3Q	490,727,495 株	23年3月期	490,727,495 株
② 期末自己株式数	24年3月期3Q	565,972 株	23年3月期	563,319 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期3Q	490,164,375 株	23年3月期3Q	445,081,255 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想につきましては、発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後さまざまな要因によって予想数値と異なる場合があります。なお、上記の業績予想に関する事項につきましては、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（その他）に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	10
(4) セグメント情報等	10
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、昨年3月に発生した東日本大震災の影響に加えて欧州債務問題及び米国経済の停滞に伴う景気後退懸念や円高の影響を受けることとなりました。雇用・所得環境は依然として厳しい状況が続き、個人消費も弱い動きがみられるなど、景気の先行きは不透明な状況で推移しました。

このような状況の中、相鉄グループにおける当第3四半期連結累計期間の営業収益は、主に建設業や流通業における減収により1,844億7千8百万円（前年同期比1.7%減）となりましたが、営業利益は主に不動産分譲業における引渡戸数の増加により125億8千5百万円（前年同期比2.9%増）、経常利益は87億3千3百万円（前年同期比6.3%増）、四半期純利益は、子会社である横浜ケーブルビジョン㈱の株式譲渡に伴う特別利益の計上等により66億6千7百万円（前年同期比23.4%増）を計上するにいたしました。

なお、子会社である相鉄ローゼン㈱（以下、「相鉄ローゼン」）につきましては、平成20年より当社、相鉄ローゼン及び丸紅㈱（以下、「丸紅」）の3社間における業務提携関係の下で同社の経営改善を進めておりましたが、12月に当該3社間で新たな資本・業務提携契約を締結するとともに、平成24年1月1日付で当社が保有する相鉄ローゼン株式の20%を丸紅に譲渡いたしました。新たな資本・業務提携契約の締結及び株式譲渡によって会社間の連携を一層強化し、相鉄ローゼンの経営改善を今まで以上に推進することによってグループ企業価値の向上を図ってまいります。

各セグメント別の状況は以下のとおりであります。

a. 運輸業

相模鉄道㈱の鉄道業、相鉄バス㈱の自動車業を中心としております。

相模鉄道㈱では、駅及び車両のバリアフリー化、改良工事等を計画的に実施し、お客様に安全・快適にご利用いただけますよう施設・車両の整備に努めており、5月には、主要機器のバックアップ機能を装備しユニバーサルデザインとバリアフリー化に対応した新型車両11000系1編成(10両)を導入し、9月には架線の点検を行う検測装置を更新し、10月には保守用車両である新型マルチプルタイタンパーを導入いたしました。

さらに、相模鉄道本線（星川駅～天王町駅）連続立体交差工事を推進するとともに、東日本旅客鉄道㈱との相互直通運転につきましては、現在、用地取得や西谷駅構内の準備工事等を実施しており、東京急行電鉄㈱との相互直通運転につきましても早期着工に向けた各種取組みを進めております。

また、政府による電力使用制限令の発動期間は列車の運行本数を一部減らした節電に伴う特別ダイヤで運行しました。

運輸業全体における当第3四半期連結累計期間の営業収益は、主に東日本大震災の影響により298億2千5百万円（前年同期比2.4%減）、営業利益は53億7千万円（前年同期比2.4%減）となりました。

b. 建設業

相鉄建設㈱を中心としており、営業力の強化、技術力の強化等に努めましたが、引続き事業環境が厳しい中で推移いたしました。なお、相鉄ホーム㈱においては、同社を取巻く経営環境等から事業の見直しを行い、戸建住宅の建築請負事業から撤退することといたしました。

以上により、当第3四半期連結累計期間の営業収益は95億5千7百万円（前年同期比26.9%減）、営業損失は5億7千7百万円（前年同期は1億5千4百万円の損失）となりました。

c. 流通業

相鉄ローゼン㈱のスーパーマーケット業、相鉄流通サービス㈱及び㈱イストの流通事業、相鉄興産㈱の砂利類販売業を中心としております。

相鉄ローゼン㈱では、「大和店」（神奈川県大和市）をはじめ合計12店舗で改装を実施したほか、「さがみ野店」（神奈川県海老名市）をはじめ合計9店舗で営業時間の延長を実施し利便性の向上に努めました。また、毎月2回開催している「ローゼン市」を6月からさらに強化するとともに、水産部門、惣菜部門の充実、年末商戦においてはお正月商品の積極的な販売等を行い収益力の向上に努めました。

相鉄流通サービス㈱及び㈱ムーンでは、4月に「カラオケムーン大船店」（神奈川県鎌倉市）、11月に「カラオケムーン大山店」（東京都板橋区）、12月に「カラオケムーン上野店」（東京都台東区）をそれぞれ新規開業し、カラオケ店は全15店舗となりました。また、相鉄流通サービス㈱及び㈱イストでは、7月に相鉄線かしわ台駅改札外にコンビニエンスストアとしては11店舗目となる「ファミリーマート相鉄かしわ台駅店」を新規開業する等、事業基盤の拡充と収益力の向上に努めました。

流通業全体における当第3四半期連結累計期間の営業収益は、主に相鉄ローゼン㈱において前期に実施した店舗閉鎖の影響や相鉄興産㈱の減収等により810億2千万円（前年同期比4.0%減）となりましたが、営業利益は、主に相鉄ローゼン㈱の増益や㈱イスト・㈱ムーンにおける店舗増加の効果等により4億1千8百万円（前年同期は3億5千9百万円の営業損失）となりました。

d. 不動産業

相鉄不動産㈱及び相鉄不動産販売㈱の不動産分譲業並びに㈱相鉄アーバンクリエイティブ、㈱相鉄ビルマネジメントの不動産賃貸業を中心としております。

相鉄不動産㈱及び相鉄不動産販売㈱の分譲業では、「グレースシアガーデンたまプラーザ」（川崎市宮前区）、「グレースシアパーク仲町台」（横浜市都筑区）、「グレースシアパークス横浜関内」（横浜市中区）等の集合住宅や戸建住宅を合計553戸分譲いたしました。

㈱相鉄アーバンクリエイティブ及び㈱相鉄ビルマネジメントの賃貸業では、事業基盤の強化・拡充等を進めており、6月には、「相鉄南幸第6ビル」（横浜市西区）を取得いたしました。また、横浜駅西口の「相鉄ジョイナス」や「ザ・ダイヤモンド」をはじめとしたショッピングセンターにおいて魅力あるテナントを誘致する等、収益力の向上に努めました。

不動産業全体における当第3四半期連結累計期間の営業収益は、主に分譲業における引渡戸数の増加により513億9千万円（前年同期比8.4%増）、営業利益は72億9千6百万円（前年同期比10.2%増）となりました。

e. その他

相鉄企業㈱のビルメンテナンス業、相鉄ホテル㈱のホテル業、㈱相鉄エージェンシーの広告代理業を含めております。

「横浜ベイシェラトン ホテル&タワーズ」を運営している相鉄ホテル㈱では、様々な販売施策を推進するとともにコスト管理の徹底を図り収益の確保に努めました。また、12月にはカラオケルームを「ミーティング」、「カラオケ」、「パーティー」の多目的に利用できる「プライベートファンクションルーム」に改装しました。

宿泊特化型ホテルの開発・運営を手がける㈱相鉄イン開発・相鉄イン㈱では、11月に「相鉄フレッサイン浜松町大門」（東京都港区）、12月に「相鉄フレッサイン東京京橋」（東京都中央区）、「ホテルグランドフレッサ赤坂」（東京都港区）がそれぞれ開業し、宿泊特化型ホテルは全6店舗となりました。引き続き多店舗化による事業基盤の拡充と収益力の向上を進めてまいります。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(資産、負債、純資産の状況)

当第3四半期連結会計期間末の総資産につきましては、たな卸資産及び繰延税金資産の減少等により前連結会計年度末に比べて228億3千4百万円減少し、5,227億3百万円となりました。

負債は、借入金及び再評価に係る繰延税金負債の減少等により311億3千6百万円減少し、4,476億7千8百万円となりました。なお、有利子負債の残高は、借入金・社債合わせまして3,122億5千6百万円となり、156億9千1百万円減少いたしました。

純資産は、四半期純利益の計上による利益剰余金の増加及び土地再評価差額金の増加等により83億1百万円増加し、750億2千5百万円となりました。なお、自己資本比率は14.3%となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

国内景気は回復の動きが見られるものの、海外経済の減速や円高の影響等が懸念される中で推移していくと思われず。

このような状況の中、当第3四半期連結累計期間の業績等を踏まえ通期連結業績予想につきましては、平成23年11月2日に公表しました数値から変更しております。

売上高は、主に不動産業における減収により2,562億3千万円（前回予想比1.9%減）、営業利益は150億4千万円（前回予想比1.7%減）、経常利益は103億1千万円（前回予想比3.1%減）、当期純利益は平成24年4月1日以降開始する事業年度から適用される法人税率の変更に伴う税効果会計の見直しにより法人税等調整額が増加することから、65億3千万円（前回予想比20.7%減）を見込んでおります。

※ 業績予想につきましては、発表日現在で入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後さまざまな要因によって予想数値と異なる場合があります。

2. サマリー情報（その他）に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	13,252	10,458
受取手形及び売掛金	16,076	15,818
たな卸資産	47,593	41,812
繰延税金資産	4,472	3,575
その他	12,699	9,797
貸倒引当金	△678	△629
流動資産合計	93,416	80,832
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	187,335	182,864
機械装置及び運搬具(純額)	15,066	14,989
土地	180,704	182,317
建設仮勘定	7,049	6,057
その他(純額)	5,397	4,131
有形固定資産合計	395,553	390,361
無形固定資産		
のれん	3,416	3,175
借地権	1,746	3,518
その他	5,348	4,361
無形固定資産合計	10,512	11,055
投資その他の資産		
投資有価証券	7,425	7,259
長期貸付金	90	86
繰延税金資産	14,749	9,841
その他	24,312	23,729
貸倒引当金	△589	△510
投資その他の資産合計	45,988	40,406
固定資産合計	452,054	441,823
繰延資産		
株式交付費	67	47
繰延資産合計	67	47
資産合計	545,538	522,703

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	15,356	13,865
短期借入金	81,811	66,435
1年以内償還社債	4,450	19,450
リース債務	620	413
未払法人税等	3,436	912
賞与引当金	2,587	1,020
その他の引当金	428	418
資産除去債務	105	—
その他	37,900	34,690
流動負債合計	146,695	137,207
固定負債		
社債	119,895	102,425
長期借入金	121,791	123,946
リース債務	1,391	680
繰延税金負債	1,027	321
再評価に係る繰延税金負債	32,395	28,391
退職給付引当金	21,461	21,146
長期預り敷金保証金	31,214	30,689
資産除去債務	1,488	1,604
その他	1,454	1,265
固定負債合計	332,119	310,470
負債合計	478,814	447,678
純資産の部		
株主資本		
資本金	38,803	38,803
資本剰余金	29,922	29,920
利益剰余金	3,997	8,213
自己株式	△218	△217
株主資本合計	72,503	76,719
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,438	1,585
土地再評価差額金	△7,594	△3,590
その他の包括利益累計額合計	△6,155	△2,004
少数株主持分	375	310
純資産合計	66,723	75,025
負債純資産合計	545,538	522,703

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
営業収益	187,575	184,478
営業費		
運輸業等営業費及び売上原価	142,244	137,985
販売費及び一般管理費	33,101	33,907
営業費合計	175,345	171,893
営業利益	12,229	12,585
営業外収益		
受取利息	85	82
受取配当金	234	200
負ののれん償却額	40	—
受託工事事務費戻入	199	89
雑収入	247	286
営業外収益合計	807	658
営業外費用		
支払利息	4,558	4,074
雑支出	260	436
営業外費用合計	4,818	4,511
経常利益	8,218	8,733
特別利益		
固定資産売却益	6	18
固定資産交換差益	—	277
投資有価証券売却益	1,014	—
関係会社株式売却益	—	6,148
工事負担金等受入額	3	—
補助金	8	5
貸倒引当金戻入額	296	—
移転補償金	462	—
退職給付制度改定益	130	78
退職給付過去勤務債務等償却額	842	—
その他	158	14
特別利益合計	2,923	6,543
特別損失		
固定資産売却損	1	0
固定資産除却損	762	398
固定資産圧縮損	66	264
投資有価証券評価損	0	269
関係会社株式交換損	—	74
減損損失	20	46
事業整理損	—	678
店舗閉鎖損失引当金繰入額	7	—
バスカード精算額	250	—
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	409	—
その他	12	208
特別損失合計	1,530	1,939
税金等調整前四半期純利益	9,610	13,336

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)
法人税、住民税及び事業税	3,176	1,596
法人税等調整額	1,064	5,135
法人税等合計	4,241	6,731
少数株主損益調整前四半期純利益	5,369	6,604
少数株主利益	△34	△62
四半期純利益	5,404	6,667

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	5,369	6,604
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△463	146
土地再評価差額金	21	4,003
その他の包括利益合計	△442	4,150
四半期包括利益	4,926	10,755
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	4,961	10,818
少数株主に係る四半期包括利益	△34	△62

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

(セグメント情報)

I 前第3四半期連結累計期間(自平成22年4月1日至平成22年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	運輸業	建設業	流通業	不動産業	その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
営業収益								
(1) 外部顧客への営業収益	29,487	9,364	83,504	45,073	20,145	187,575	—	187,575
(2) セグメント間の内部営業収益又は振替高	1,080	3,707	918	2,349	7,263	15,318	(15,318)	—
計	30,567	13,072	84,422	47,423	27,408	202,893	(15,318)	187,575
セグメント利益	5,502	△154	△359	6,620	389	11,998	230	12,229

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ビルメンテナンス業、ホテル業及び広告代理業等の事業を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	運輸業	建設業	流通業	不動産業	その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
営業収益								
(1) 外部顧客への営業収益	28,853	7,576	80,414	48,917	18,717	184,478	—	184,478
(2) セグメント間の内部営業収益又は振替高	971	1,981	606	2,473	6,315	12,349	(12,349)	—
計	29,825	9,557	81,020	51,390	25,033	196,827	(12,349)	184,478
セグメント利益	5,370	△577	418	7,296	△133	12,374	210	12,585

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ビルメンテナンス業、ホテル業及び広告代理業等の事業を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。